

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。



登米市保育基本方針

(平成 28 年 2 月策定)

1 保育理念

子どもたち、一人一人が心身ともに健やかに育つ環境づくりに努め、豊かな人間性を育成するとともに望ましい未来を創りだす力の基礎を養う。

2 保育方針

豊かな自然環境に恵まれた水の里と伝統文化の中で、養護と教育が一体となった保育を通して子どもの健やかな育ちを支え、生きる力の基礎を育む。

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、健康な心と体を育てます。
- (2) 安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を発揮できるようにします。
- (3) 地域の人々や子ども同士の関わりを大切にし、社会性やこころを育てます。
- (4) 家庭や地域と連携し、保護者の気持ちに寄り添いながら、子育て支援を行います。
- (5) さまざまな体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを育みます。



□1 設置運営主体

名 称	登米市	代表者氏名	市長 熊谷 盛廣
所在地	登米市迫町佐沼字中江二丁目 6 番地 1	電話番号	0220-22-2111

□2 利用施設

(令和6年2月1日現在)

名 称	登米市中田保育所		
所在地	登米市中田町上沼字大柳 1 1 6 番地		
電話番号	0220-34-2050 (FAX 0220-34-2050)		
ホームページ URL	http://www.city.tome.miyagi.jp/kosodateshien/kurashi/fukushi/jido/hoikusyo/index.html		
メールアドレス	nakada-hoiku@city.tome.miyagi.jp		
事業認可年月日	昭和 44 年 3 月 2 7 日 (開設年月日：昭和 4 4 年 4 月 1 日)		
施設長氏名	所長 及川 真紀		
利用定員	90名		
実施する保育事業	保育所		
自己評価の概要	自己評価を実施し、職員の資質及び保育サービスの向上に努めています。		
第三者評価の概要	未実施		
職員研修の実施状況	職種・経験に基づき、各自の質の向上を高めるために全職員が積極的に外部研修や内部研修を受講しています。		
嘱 託 医	(内科医) 大坂 國通 (歯科医) 佐藤 敬	大坂医院 かがの歯科医院	

□3 運営方針等

＜施設の目的＞ 児童福祉法に基づく、乳児及び幼児の保育を行う。

＜基本目標＞ 一人一人異なる資質や特性をもっている子どもを受け止め、一人一人が安心して生活し「愛されている」という実感を育み、保育士等や子ども同士の関わりにより命・関わる力・学びを保障し、心の育ちを大切にする。

＜具体目標＞

* 目指す子ども像 *	明るく元気な子ども	* 具体的な子どもの姿 *	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にあいさつをする子ども ・自分のことは自分でする子ども ・意欲をもって取り組む子ども
	やさしい子ども		<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く遊ぶ子ども ・人の気持ちが分かる子ども ・物を大切にする子ども
	豊かに表現する子ども		<ul style="list-style-type: none"> ・表情豊かで笑顔の子ども ・思いや感謝の気持ちを言葉や態度で表す子ども ・感じたことをかいたり、つくったりする子ども

□4 開所日・保育を提供する時間・休所日等

○ 月曜日～土曜日・・・保育短時間認定（８時間）利用 AM8:00～PM4:00

保育標準時間認定（１１時間）利用 AM7:30～PM6:30

＊土曜日については、お子さんと触れ合う時間を多くもっていただきたいということから希望保育を実施しております。希望される方は、利用する週の火曜日までに保育所にある「土曜保育申込書」に記入して、保育士に手渡しで提出してください。

※（ミルク・離乳食・アレルギー除去食のお子さんは月曜日 午前９時まで申し込んでください。）

○ 登所時間・・・午前９時までです。欠席や遅れる場合も、おやつ・給食の準備上９時まで連絡してください。 中田保育所 TEL：0220（34）2050

※（離乳食・アレルギー除去食のお子さんが欠席をする場合は８時３０分まで連絡をお願いします。）

○休所日・・・日曜日・祝日・年末年始（１２月２９日～１月３日）

○ 新入児の慣らし保育

期 間	降所時間	給 食	備 考
４／３（水）～４／５（金）	１１：００	食べません	４／１１（木）より 通常保育
４／８（月）～４／１０（水）	１２：００	食べます	

○送迎について

＊ お子さんの送迎は、ご家庭で責任をもって行ってください。

※ 未成年者の送迎はお断りしております。

＊ 通院や家庭の都合で １１時までに保育所に登所できない時は、登米市の指導で給食は出せませんので、昼食を済ませてから登所させてください。

＊ おうちの人以外の方が迎えに来る時や、いつもの時間より遅れる時は、必ず保育所に連絡をお願いします。



□5 施設の概要

敷 地	1,546 ㎡		
建 物	鉄骨造 平屋建	（建物面積）1,050.75 ㎡	
施設の内容	・乳児室 １室	38㎡	
	・保育室 ５室	223㎡	・便 所 23.34㎡
	・遊戯室（ホール）	290㎡	・医務室１室 16.5㎡
	・厨房 73.5㎡		・事務室 41㎡
設備の内容	・暖房	・冷房	・プール（屋外設置型）
屋外遊技場	・所庭 1,080 ㎡		

□6 職員体制

(令和6年2月現在)(単位:人)

うち()内は育児休業中の人数

職 種	員 数	うち常勤	うち非常勤	うち有資格者数
所 長	1	1		
副 所 長	1	1		保育士1
主任保育士	1	1		保育士1
保 育 士	18(3)	7(1)	11(2)	保育士18(3)
保育士補助	2		2	
栄 養 士	1(兼)	1(兼)		栄養士1
調 理 員	4	1	3	調理師1
計	28	12	16	22

□7 保護者の負担

○保育料(利用者負担額)は登米市が決定します。

※市外の方が利用する場合は、居住地の決定額になります。

※納付書または口座振替で登米市へ納入していただきます。(納期:毎月25日)

○3歳以上児の給食費について(3歳以上児は保育料が無償ですが、給食費が発生します。)

主食費(ご飯・パン代):月額500円・副食費(おかず代):月額4,500円

※年収360万円未満の世帯は、副食費が免除されます。

※納付書または口座振替で登米市へ納入していただきます。(納期:毎月25日)

○実費徴収負担額 (令和6年度予定)

*独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金(年額)210円

*保護者の会費:全児童 年間4,000円(4月 2,000円, 10月 2,000円)

*クラス帽子:新入所児のみ 920円 *絵本代:3・4・5歳児のみ 月450円程度

*行事写真:希望者のみ



□8 給食の提供

登米市福祉事務所子育て

公立保育所(園)・こども園の食事について

1 食育目標

- ①「はやね・はやおき・あさごはん」を推進し、よい食習慣と健康な体をつくる
- ②栽培、収穫、料理等の体験や給食を通じて「食」への関心を高める
- ③地域の食材や地域に根ざした料理を取り入れ、食文化にふれる
- ④「食」に対する感謝の気持ちを育て、豊かな心を育む




2 給食の配慮点

- ① ごはん食(日本型の食事)を中心として、四季折々の野菜・果物を使用し、行事食を取り入れます。
- ② 食文化の一つである天然だしを使用し、素材の持ち味を生かした「薄味」とします。
(味噌汁は0.4～0.5%塩分)
- ③ 不足しがちな魚、大豆製品、野菜、海藻等、また地元の特産物や昔から伝わる家庭料理を積極的に取り入れます。
- ④ 給食や食に関する様々な体験を通して食べることの大切さや楽しさを感じられるよう配慮します。
- ⑤ 児童の年齢や個人差に応じて計画的・段階的に子どもたちにはたらきかけを行います。



3 給食の提供内容

区 分		午前のおやつ	昼 食	午後のおやつ
離乳食	7～8か月頃	ミルク	離乳食＋ミルク	ミルク
	9～11か月頃	有		有
	12か月頃（誕生月の翌月まで）			
3歳未満児		有	 完全給食 （主食・おかず・汁物）	有
3歳以上児		無		

* 主食は白ご飯ですが月に2回程度は麦ごはんになります。

* 土曜日にも給食を提供しますが簡易なものとなります。



(1) 3歳以上児の箸の持参

箸は木製か竹製のものが使いやすく、箸先に滑り止めがついているものがよいでしょう。
箸ケースにいれて持参してください。

(2) 誕生会 第3木曜日 行事食です。都合により誕生会の日程が変更になることがあります。

(3) 11時以降の登所の場合 食中毒予防と配膳の都合上、昼食を済ませて登所願います。

お願い

○毎月、献立表と食育だよりを発行しますので目を通していただきますようお願いいたします。

○朝食は子どもの成長と活動に不可欠です。必ず朝食をとって登所するようお願いいたします。

食物アレルギーで給食に除去が必要な場合

基本的に一年に一度、医師の記入したアレルギー疾患生活管理指導表と除去食の依頼書等を提出していただき対応します。(用紙は施設にあります)ただし、お子さんの安全を確保するため、除去の内容によっては弁当持参となる場合があります。弁当持参の場合、保育料・副食費は減額になりませんので予めご了承ください。

公立保育所（園）・こども園 の離乳食について

生後5～6か月から、ご家庭で離乳食を開始していただくことが第一となります。

お子さんの唇や舌の動きを見ながら、「カミカミしようね」などと声をかけながら、楽しい雰囲気で行われるように心がけましょう。

「授乳・離乳の支援ガイド（厚労省）2019年3月改訂」をもとに、個人の状況を踏まえて、保護者の皆様と相談しながら離乳食を提供します。

アレルギー予防の観点から、給食で初めて食べる食材がないようご家庭で月齢に合わせて与えておいてください。

【離乳食の流れ（目安）】※授乳・離乳の支援ガイド より

	午前のおやつ	昼 食		午後のおやつ
		内 容	形 状	
7～8 か月頃	ミルク	離乳食 ＋ミルク	舌でつぶせる固さ （豆腐状）	ミルク
9～11 か月頃	果物 赤ちゃんせんべい等		歯ぐきでつぶせる固さ （バナナ状）	果物 赤ちゃんせんべい等
12 か月頃	果物 赤ちゃんせんべい等 プレーンヨーグルト		歯ぐきで噛める固さ （肉だんご状）	果物 赤ちゃんせんべい等 プレーンヨーグルト

■ 離乳食の開始

基本的には生後7か月（2回食移行期）から開始し13か月目までを離乳食とします。

例）4月生まれのお子さんの場合は、5月いっぱい離乳食となり、6月から幼児食に移行します。

■ 離乳食の形状

「離乳・授乳の支援ガイド」の目安をもとに、個人の発育・発達や食べ方を考慮し、形状を調整し提供します。

■ 離乳食の味つけ

それぞれの食品のもつ味を生かしながら、うす味で提供します。

■ 天然のだし

煮干し、削り節、こんぶ等でとった出汁を使用しています。

■ それぞれの味を感じられるような配慮

基本的に主食、主菜、副菜、汁物のそれぞれの持ち味を味わえるようにします。

■ 離乳期のおやつ

公立保育所（園）・こども園では9か月からおやつを提供します。本来1歳くらいまでは、離乳食と授乳で十分な栄養がとれるため、おやつは必要ないとされていますが、食べる楽しみを味わってもらうため少量を提供します。

12か月からは幼児食への移行準備としておやつに「プレーンヨーグルト」も提供します。

ご家庭であらかじめ食べさせてアレルギー等の確認をしてください。



■ 牛乳への移行

フォローアップミルクは母乳ではなく、牛乳の代替品（同じような成分）であるため、施設では1歳まで育児用粉ミルクでの対応となります。1歳のお誕生日を迎えたお子さんは、家庭で牛乳を少しずつ試していただき、**異常がないことを確認したら、幼児食への移行とともに牛乳を提供します。**

ご家庭へのお願い

- ★ 大人と同じような味付けは、お子さんの体に負担がかかります。薄味にご協力ください。
- ★ 離乳食は、いすに座って食べさせるようにしましょう。お子さんの唇や舌の動く様子がよく見えます。
- ★ 1歳のお誕生日までに起きる時間、寝る時間、3回の食事リズムを整えていきましょう。
- ★ **1歳のお誕生日を迎えたら、牛乳を少しずつ飲ませてみましょう。**
- ★ 子ども用のイオン飲料や100%果汁のジュースも糖分が含まれるため、ミルクや離乳食をとらない原因になることがあります。水分補給としてあげる時は湯ざましや麦茶がよいでしょう。
- ★ **お子さんの体調の変化や食事で心配なことはクラス担任を通じてお気軽にご相談ください。**

□9 保育目標（令和5年度）

クラス	目 標
乳 児	・ 保育士等との触れ合いを通して、生理的、心理的欲求を満ちし情緒豊かに育つようになる。
1 歳児 (満1歳より)	・ 聞く、見る、触れるなどの様々な経験を通して、言葉を覚え、身近な人や物に興味をもつ。
2 歳児	・ 保育士等に気持ちを受け入れてもらいながら、自分の思いを言葉で伝えようとし、自分で身の回りのことをしようとする。
3 歳児	・ 保育所生活の流れや生活の仕方が分かり、自分の身の回りのことをしようとする。
4 歳児	・ いろいろな活動に積極的に取り組み、身近な人との関わりを深めながら日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
5 歳児	・ 保育士等や友達に進んで関わり、主体的に行動し、充実感を味わうようになる。



□10 年間行事予定

4 月	・入所式・ジャガイモ植え・保育参観・保護者の会総会・なかよし会		
5 月	・尿検査① ・健康診断①（内科）・個人面談・幼年消防クラブ任命式・交通安全教室 ・サツマイモ苗植え ・5 歳児遠足（うみの杜水族館）・5 歳児交流保育（中田幼稚園）		
6 月	・健康診断①（歯科）・プール開き ・防犯教室（不審者対応避難訓練） ・ミサイル発射時避難訓練		
7 月	・七夕会・夕涼み会（保護者の会主催）・ジャガイモ掘り ・4 歳児所外保育（三滝堂沢遊び） ・引き渡し訓練（水害） ・人形劇鑑賞会		
8 月	・5 歳児所外保育（三滝堂沢遊び）・プール納会		
9 月	・交通安全教室		
10月	・運動会 ・尿検査② ・健康診断②（内科・歯科）・サツマイモ掘り・やきいも会 ・2,3 歳児所外保育（かがの公園）・4 歳児所外保育（平筒沼ふれあい公園） ・5 歳児交流保育（中田幼稚園・みどりご園）		
11月	・総合避難訓練 ・4,5 歳児所外保育（りんご狩り）		
12月	・発表会 ・5 歳児地域交流（ほんわか）・おたのしみ誕生会・終わりの式		
1 月	・はじめの式 ・保育参観		
2 月	・豆まき会 ・一日入所 ・幼年消防クラブ退団式		
3 月	・ひなまつり会 ・お別れ会（バイキング給食） ・修了式（修了児・在所児）		
毎 月	身体計測、避難訓練、誕生会	その他	A L Tと遊ぼう会 クッキング 等




□11 健康診断等

健康診断	年2回（5月・10月）、嘱託医による健診を行います。 結果については、健康管理票に記録し、結果を各家庭にお知らせします。
身体計測	毎月1回、身長・体重の計測を行います。 結果については、健康管理票に記録し、連絡帳に記載してお知らせします。



□12 毎日の保育の流れ

時 間	未満児（0～2 歳児）保育内容	以上児（3～5 歳児）保育内容
7：30 8：00	保育標準時間（11 時間）利用児登所 保育短時間（8 時間）利用児登所 （健康観察・好きな遊び）	
9：15	お や つ 各クラスの計画に沿った保育	各クラスの計画に沿った保育
11：00		
12：00	おむつ交換・排泄・給食	給食準備・給食
	おむつ交換・排泄・午睡	午睡準備・午睡
15：00	起床・おむつ交換・排泄・おやつ	起床・おやつ
16：00	 保育短時間（8 時間）利用児降所	
18：30	保育標準時間（11 時間）利用児降所	

□13 利用施設と保護者の連絡

(1) 児童の保育中の状況や家庭での状況を相互に連絡し合うために、リズム表や連絡帳を活用します。

- ・リズム表（0・1 歳児）：体温、食事、排便や児童の様子をできるだけ詳細に記入します。
- ・連絡帳（2～5 歳児）：体調や遊び等児童の様子などお知らせしたいことを記入します。

(2) 保育所だよりやクラスだよりの発行、保育室前のホワイトボード等で連絡事項やクラスの様子をお知らせします。

□14 入所時に必要な書類・保護者が用意するもの

- 入所時に必要な書類：①児童調査票（病歴・予防接種記録・アレルギー等・家族状況・連絡先 他）
②食事調査票 ③施設利用同意書

○ 全ての持ち物に名前を記入しましょう。

なまえを記入
しましょう！



○着脱しやすく、動きやすい服装で登所させてください。（フード付き上着やスカート、ワンピースなどは避けてください。また、ヒモは外すか付いていないものをお願いします。危険な時は、着替えることもありますのでご了承ください。ヘアピンは金具があり、転んだりぶつかった時に危険ですので、つけないようにしてください。）

○布団は毎週金曜日に持ち帰り、日光消毒シカバーは洗濯して布団にかけ、月曜日に持ってきてください。

《全体で集めるもの》

- レジ袋・・・100枚綴り30号（たて480mm×よこ260mm位）
- ひも付きポリ袋・・・Mサイズ100枚綴り（たて350mm×よこ250mm位）
- 箱ティッシュ・・・2箱（3，4，5歳児）
- ・・・5箱（0，1，2歳児）
- 雑巾・・・3枚

合同保育時や所外保育
時に使用します。

なくなったら、
また集めること
もあります。



《 0・1歳児が用意する物 》

着 替 え	下着と服（上 下）・・・ 各3～4組 ※ロンパースでない物
① おしぼり	毎日洗濯して乾いた物（3枚）
②ビニール袋（レジ袋）	使用したおしぼりを入れる袋 ※名前を書き、ロッカーのフックにかけてください。
③食事用エプロン	毎日洗濯して乾いた物（3枚）※さくらんぼ組は、離乳食が始まったら使用します
④ガーゼハンカチ	授乳（ミルク）時に使用します（0歳児のみ）
⑤コップ （いちご組のみ）	1個（毎日持ち帰り洗ってくる）*コップ袋を用意してください
⑥布 団	タオルケット、ベビー毛布、敷き布団（取り外しのできるカバーを付ける） ※カバーに大きく名前を書いてください。掛け布団は使用しません。
⑦紙おむつ	7枚以上（1枚ずつに太マジックで名前を記入）
⑧おむつ交換用マット	防水素材で洗濯できるもの（感染症対策のため、交換後消毒を行います） 毎日洗濯して乾いた物をもってきてください。（縦60cm×横47cm位） ※名前を書き、エコバック（30cm×35cm程度）に入れてください。
⑨おしりナップ	おしり拭き用（なくなったら、その都度各自補充）
⑩手提げバック	A4 ファイルが入る大きさの物
⑪箱ティッシュ	1箱（なくなったら、その都度各自補充）

《 2歳児が用意する物 》

①着 替 え	下着と服（上 下）、靴下など・・・ 各2～3組
②おしぼり	毎日洗濯して乾いた物（3枚）
③ビニール袋（レジ袋）	使用したおしぼりを入れる袋 ※名前を書き、ロッカーのフックにかけてください。
④コ ッ プ	1個（毎日持ち帰り洗ってくる）*コップ袋を用意してください。
⑤布 団	タオルケット、ベビー毛布、敷き布団（取り外しのできるカバーを付ける） ※カバーに大きく名前を書いてください。掛け布団は使用しません。
⑥おねしょマット	おねしょをする心配のあるお子さんだけ（布団カバーの中に入れる）
⑦紙おむつ	7枚以上・・・ 1枚ずつに太マジックで名前を記入
⑧おむつ交換用マット	防水素材で洗濯できるもの（感染症対策のため、交換後消毒を行います） 毎日洗濯して乾いた物をもってきてください。（縦60cm×横47cm位） ※名前を書き、エコバック（30cm×35cm程度）に入れてください。
⑨おしりナップ	おしり拭き用（なくなったら、その都度各自補充）
⑩リュック	汚れ物も入る大きさ リュックにはキーホルダーなどの飾りはつけないようにしましょう
⑪上靴・上靴入れ	バレシューズ ※開始する際にはクラス担任よりお知らせします。
⑫箱ティッシュ	1箱（なくなったら、その都度各自補充）

*午前と午後のおやつ、昼食時の3回おしぼりとエプロンを使用します。衛生上使用済みの物はその都度ビニール袋に入れてお返ししますので、ご家庭で洗濯し、次の日また乾いたおしぼりとエプロンを3枚ずつ持ってきてください。コップも毎日持ち帰りますので、きれいに洗って次の日持って来てください。（2歳児はエプロンはいりません。）

3歳以上児のお子さんについて

《 3・4・5歳児が用意する物 》

①着 替 え	下着と服（上 下）、靴下など（各2～3組） ※出し入れしやすいひも付きの布袋に入れてください。
②おしぼり	毎日洗濯して乾いた物(2枚)
③ビニール袋（ポリ袋）	使用したおしぼりを入れる袋（Mサイズ1箱 なくなったら、その都度補充）
④コ ッ プ	1個（毎日持ち帰り洗ってくる）＊コップ袋を用意してください。
⑤箱ティッシュ	1箱（なくなったら、その都度各自補充）
⑥布 団	タオルケット、ジュニア毛布（100 cm×140 cm位のもの）、敷き布団、（取り外しのできるカバーを付ける）＊カバーに大きく名前を書いてください。掛け布団は使用しません。
⑦おねしょマット	おねしょをする心配のあるお子さんだけ（布団カバーの中に入れる）
⑧箸と箸箱	箸はプラスチック以外の物をお勧めします（スプーンは保育所で準備します）
⑨リュック	リュックにはキーホルダーなどの飾りはつけないようにしましょう。
⑩上靴・上靴入れ	パレーシューズ（金曜日に持ち帰り洗ってきてください）
⑪パジャマ	自分で出し入れしやすいひも付きの布袋に入れてください。 ※3歳児は持ってくる日を後日お知らせします。
⑫絵本袋	A4サイズの絵本が入るもの 持ち手つきの手さげ袋

＊昼食時と午後のおやつの2回おしぼりを使用し、衛生上使用済みの物はその都度ビニール袋に入れてお返ししますので、ご家庭で洗濯し、次の日また乾いたおしぼりを2枚ずつ持ってきてください。

＊コップは毎日持ち帰りますので、きれいに洗って次の日持って来てください。



□15 利用の終了に関する事項

右記の場合は、保育の提供を終了します。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の保護者が、児童福祉法または子ども・子育て支援法に定める保育を必要とする事由に該当しなくなったとき ・その他、利用の継続について重大な支障または困難が生じたとき
---------------------	--

□16 利用に際し留意していただきたいこと

＊ 登所前に必ず体温や健康状態等の確認を行ってください。

○ 発熱（37.5℃以上）・下痢・嘔吐・歯痛など体調が悪い場合は、連絡しますので迎えに来てください。

37.5℃未満でも食欲がない、熱性けいれんを起こしやすいお子さんの場合には連絡をします。

○ 緊急連絡の電話番号を優先順をつけて3件お知らせください。（変更の場合は速やかにご連絡ください）

○ 小児ぜん息・ひきつけ・ヘルニア・アレルギー・脱臼・じんましん・薬品にまけやすい等、持病のあるお子さんは入所時にお知らせください。またその際、家庭で行っている応急手当ての仕方もお知らせください。

○ 衣服・皮膚・頭髮・爪等は常に清潔にしてください。

○ 家庭での排便は精神的に安定感を与えますので、毎日家庭で済ませるよう習慣付けましょう。排便の状態は、健康状態を判断する目安となります。よく観察し、異常がある場合は保育士等に話してください。

○ 集団生活ですので、多少のけがやすり傷などはご了承ください。

○ 予防接種後は、家庭で安静にしてくださいようお願いいたします。（午後の接種をお勧めします。）

○くすりの依頼については 本来、薬は保護者が服用させることになっています。保育所に通所（在籍）していることを知らせ、朝・夕2回の処方医師にご相談ください。やむを得ず、保育所での服用が必要な場合は、お昼の1回分だけです。（資料1）

① 保育所に置いてある「与薬依頼票」(資料2)に指定時間や用途等を記入し、「薬剤情報提供書(処方箋)」を添えて直接職員に手渡してください。

② 袋や容器には必ず1回分のみ入れ、お子さんの名前を明記してください。



①②が揃っていない時は投与できませんので気を付けてください。

※市販の薬は受け付けませんのでご了承ください。



子どもに多い感染症について

○ 学校保健法では、感染症にかかった時は登所を停止しなければならないことを定めておりますが、保育所もこれに準じています。下記の病気に罹患した場合には、保育所から「登所(園)届について」(資料3)の用紙をもらい、登所する時は医師の許可を得てから「登所(園)届」に保護者が記入して提出してください。 ※医師の診断書は必要ありません。

<特に注意すべき感染症>

麻疹	流行性角結膜炎
インフルエンザ	百日咳
風しん	急性出血性結膜炎
水痘(水ぼうそう)	髄膜炎菌性髄膜炎
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	腸管出血性大腸菌感染症
結核	(0157 026 0111)
咽頭結膜熱(プール熱)	新型コロナウイルス感染症

<注意すべき>

溶連菌感染症	ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス ロタウイルス アデノウイルス等)
ヘルパンギーナ	R S ウイルス感染症
マイコプラズマ肺炎	帯状疱疹
手足口病	突発性発疹
伝染性紅斑(リンゴ病)	

「保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)こども家庭庁
2018(平成30)年3月(2023(令和5)年5月一部改訂
<2023(令和5)年10月一部修正>」より

□17 緊急時の対応

- (1) 保育中にけがや容体の急変などがあった場合は、あらかじめ保護者が指定した緊急連絡先順に連絡をし、主治医あるいは嘱託医への連絡を取るなど必要な措置を講じます。
- (2) 保護者や緊急連絡先との連絡が取れない場合は、児童の身体の安全を優先させ、当施設が責任を持ってしかるべき対応を行いますので、あらかじめご了承ください。

嘱託医	(内科) 大坂医院 大坂 國通	0220-34-6625
	所在地 登米市中田町石森字駒牽 240 番地 1	
	(歯科) かがの歯科 佐藤 敬	0220-35-2552
	所在地 登米市中田町石森字加賀野 1 丁目 5 番地 8	
救急隊	管轄消防署名 登米市消防署 北出張所	119番通報
	所在地 登米市石越町南郷愛宕 8 1 番地	0228-34-2119
警察署	管轄警察署名 佐沼警察署 中田駐在所	110番通報
	所在地 登米市中田町宝江黒沼下道 72 番地 12	0220-34-2134

□18 非常災害時の対応

○震度5弱以上の大規模地震が発生した場合、保護者のお迎えをお願いします。（登米市保育所統一基準） 児童の引き渡しの際は、災害時引渡し登録者に限ります。※引き渡し者登録は入所後にさせていただきます。

○子どもの安全に関わる緊急事態が生じた場合の情報伝達をする保育業務支援システム「おがスマ」に登録をお願いします。『おしらせメール』は毎月1回送信しますので、確認をしてください。

○火災及び地震を想定した避難訓練を毎月実施します。 *第1避難場所：保育所 所庭

*第2避難場所：こじか園 園庭

□19 児童の環境を守るための対応

家庭内において、DVや虐待などの恐れがあると感じられた際は、当施設から市や県の関係機関へ通報することがありますので、あらかじめご了承ください。

□20 保育内容に関する相談・苦情

施設利用における苦情・ご意見・ご要望については、苦情受付担当者または第三者委員までお申し込みください。詳細は、掲示コーナーに掲示している「苦情解決制度について」をご覧ください。

□21 賠償責任保険の加入

登米市では、施設の管理下の事由による負傷・疾病などの災害に対処するため、独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営する「災害救済給付制度」に加入しています。

- ・初診から治癒までの医療費総額が500点（5,000円）以上の場合に対象となります。
- ・給付金額は、医療費総額の3割（自己負担分）に付加支給分の1割を加えた金額になります。ただし、乳幼児医療費助成該当分は対象外のため、医療費受給者は1割のみの給付となります。
- ・その他の見舞金等もあります。

□22 個人情報の取り扱い

保育を提供する上で知り得た児童、保護者及び家族の情報を秘密として扱い、次の目的の場合を除き、同意なく第三者への提供はいたしません。

- ・児童の保育、健康・安全管理
- ・法令に基づく要請
- ・保育提供について他の機関との連携
- ・個人を特定しない統計データ活用
- ・未納額の請求、徴収

□23 重要事項に対する同意

本書の内容及び個別の施設利用内容に対して同意をいただくことで、当施設を利用していただけます。同意する方は、**2月22日までに、施設利用同意書を提出**してください。



* その他 *

- 登所時には運動靴を履いて登所させてください。サンダル・クロックスは危険が伴いますので、履かせないようにしてください。
- 住所・保護者の職場・健康保険証・電話番号・家族構成等に変更が生じた場合は、すみやかに保育所に連絡願います。
- 保育所からの諸連絡については ①各クラス入り口のホワイトボードへの掲示 ②保育所だより、クラスだより、食育だより、献立表等 ③配信メール の方法で行いますので必ずご覧ください。



保護者の皆さんへ

登米市公立保育所（園）・こども園

保育所（園）・こども園でのくすりの取り扱いについて

1. お子さんのくすりは、本来は保護者が登所（園）して与えていただくのですが、緊急やむをえない理由で保護者が登所（園）できないときは、保護者と保育所（園）・こども園で話合いのうえ、保育所（園）・こども園の担当者が保護者に代わって与えます。この場合は、万全を期するため「与薬依頼票」に必要事項を記載していただき、くすりに添付して保育士に手渡していただきます。なお、「与薬依頼票」は保育所（園）・こども園に保管しますので必ず使用後は戻して下さい。
2. くすりは、お子さんを診察した医師が処方し調剤したもの、あるいはその医師の処方によって薬局で調剤したものに限ります。
3. 保護者の個人的な判断で持参したくすりは、保育所（園）・こども園としては対応できません。
4. 座薬・解熱剤・鎮痛剤の使用は原則として行いません。
5. 慢性の病気（気管支喘息・てんかん・糖尿病・アトピー性皮膚炎などのように経過が長引くような病気）の日常における投薬や処置については、国の保育所保育指針によって、子どもの主治医または嘱託医の指示書に従うとともに、相互の連携が必要です。
6. 持参するくすりについて
 - ① 医師が処方したくすりには必ず、「与薬依頼票」・「薬剤情報提供書」（処方箋）を添付して下さい。
 - ② 使用するくすりは1回分ずつに分けて、当日分のみご用意下さい。
 - ③ 袋や容器にお子さんの名前を記載して下さい。
7. 主治医の診察を受けるときは、お子さんが現在〇〇時から〇〇時まで保育所（園）・こども園に在園していることと、施設では、原則としてくすりの使用ができないことをお伝え下さい。

- *くすりは必ず保育士に手渡し、受け取った際に確認させていただきます。
- *1回分のくすりを容器に入れ、名前も記入ください。
- *薬剤情報提供書(処方箋)も添付してください。(処方期間が過ぎた薬は与薬できません)
- *この与薬依頼票は、保育所(園)・こども園に保管しますので使用後は戻してください。
- *ボールペンで記入をお願いします。
- *この用紙はコピーしないで保育所(園)に申し出てください。

依頼日	令和 年 月 日 ()	依頼先	登米市	保育所 (園)
依頼者	()組 園児氏名 (男 ・ 女) 保護者氏名			
病院名	病院・医院			
病名(症状)				
投与期間 (医師の指示する期間)	<div> <div>飲み始め</div> <div>飲み終わり</div> </div> <div> 令和 年 月 日 (朝・昼・夕) ～ 令和 年 月 日 (朝・昼・夕) </div>			
投与時間	昼食前 ・ 昼食後 ・ その他()			
保管	室温 ・ 冷蔵庫 ・ その他()			
剤型・数量	粉(包) ・ 液(シロップ) ・ 錠剤(粒) ・ 外用薬 (ぬり薬 ・ 目薬)			
くすりの内容	抗生物質 ・ 咳止め ・ 整腸剤 ・ かぜ薬 ・ 外用薬()			
投 薬 方 法	そのまま飲める ・ 水に溶く ・ その他()			

[illegible]

登所（園）届について

保育所・こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

入所児がよくかかる下記の感染症については、医師の診断に従い、登所（園）届の記入・提出をお願いします。なお、集団生活に適応できる状態に回復してから登所（園）するよう、ご配慮ください。

○特に注意すべき感染症

麻疹	流行性角結膜炎
インフルエンザ	百日咳
風しん	急性出血性結膜炎
水痘（水ぼうそう）	侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腸管出血性大腸菌感染症
結核	新型コロナウイルス感染症
咽頭結膜熱（プール熱）	

○注意すべき感染症

溶連菌感染症	ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス ロタウイルス アデノウイルス等）
ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症
マイコプラズマ肺炎	带状疱疹しん
手足口病	突発性発しん
伝染性紅斑（りんご病）	

「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）こども家庭庁 2018（平成 30）年 3 月（2023（令和 5）年 5 月一部改訂（2023（令和 5）年 10 月一部修正）」より

きり

登所（園）届（保護者記入）

所（園）長 あて

組 児童名

令和 年 月 日病名「 」と診断され、
医療機関名「 」において、令和 年
月 日病状が回復し集団生活に支障がない状態と判断されたので登所（園）いたします。

令和 年 月 日

保護者氏名

令和〇年〇月〇日

保護者各位

登米市中田保育所
所長 及川 真紀

災害時および緊急時の対応について
(引渡し者登録のお願い)

日ごろより中田保育所の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、東日本大震災を経験し中田保育所では防災対策の見直しを再度行っているところです。震度5弱以上の大規模地震が発生した場合、お子様のお迎えをお願いすることになっておりますが（登米市保育所の統一基準）災害時には混乱することが予想されますので、引渡し者登録をし本人確認のうえ、お子様を引渡したいと考えました。誰がお迎えに来るかをご相談のうえ、引渡し者の登録をお願いします。

地震に伴う津波等の発生が予測される場合は、お子様のお迎えのために無理に移動することが、逆に災害の遭遇にもつながり兼ねないため、その移動についてはご自身の安全確保を優先して対応していただきたいと思います。

【記入例】

災害時引渡し者の登録

児童氏名	りんご組	とめ 登米	はなこ 花子
住 所	登米市中田町上沼字大柳 1 1 6		
中田保育所に在籍する兄弟姉妹	も も 組	とめ 登米	たろう 太郎
	組		
	組		
	組		

兄弟がいる場合は
上のお子さんの名前を
記入してください。

名前にはふりがな
をお願いします。

◎災害時、保育所にお迎えに来ていただける方を記入してください。

保護者及び同居家族以外に、お子さんが顔を見て確実に分かる方を登録してください。

◎3名以上の登録をお願いします。

順 位	氏 名	児童から見た関係	連 絡 先	
1	とめ 登米	たろう 太郎	住 所	登米市中田町上沼字大柳 1 1 6
			自宅・ 携帯	0 9 0 - 3 4 〇 〇 - 2 0 5 0
2	とめ 登米	いちろう 一郎	住 所	登米市中田町上沼字大柳 1 1 6
			自宅 ・携帯	0 2 2 0 - 3 4 - 2 0 5 0
3	なかだ 中田	はじめ 一 (祖母の兄)	住 所	登米市中田町石の森加賀野 1 2
			自宅・ 携帯	0 8 0 - 2 2 3 3 - 3 3 2 2
4	とめ 登米	よねこ 米子	住 所	登米市中田町上沼字大柳 1 1 6
			自宅・ 携帯	0 9 0 - 3 4 〇 〇 - 0 0 5 0
5	とめ 登米	いちこ 市子	住 所	登米市中田町上沼字大柳 1 1 6
			自宅 ・携帯	0 2 2 0 - 3 4 - 2 0 5 0

令和〇年〇月〇日

保護者各位

登米市中田保育所
所長 及川 真紀

保育業務支援システムの運用開始について

入所するお子さんの安全にかかわる緊急事態が生じた場合に、速やかに保護者の皆さまに連絡して情報を共有し、安全確保を図るため、市内保育所等において保護者の皆さまのスマートフォンにお知らせメールを送信し、情報を伝達する『おがーるシステム』を導入しています。

つきましては、裏面により登録をしていただきますようご協力をお願いいたします。

————— 【おがーるメールシステム導入の利点】 —————

連絡メールシステムの導入により、以下の利点があります。

- 情報を早く伝達する

→情報を一括送信するため、スピーディーに伝達することができます。

- 情報を確実に伝達する

→保護者の皆さまへの伝達状況は、保育所で個別に確認します。

————— 【連絡メールをお送りするメール】 —————

下記のような場合に「おがスマ」より「おしらせ」から緊急メールをお送りします

- 緊急時の連絡手段（災害発生時、不審者情報、急な閉所など）
- 行事のお知らせ（天候による実施の有無、変更など）
- 注意喚起（感染症、防犯など情報提供）
- 提出物の依頼（期日が定められているものの再確認など）
- その他保育所長が必要と認めるもの

＊上記による利用が全くない場合には、月1回程度のテストメール送信を実施します。

（利用方法の確認、保護者のアプリダウンロード及び登録対応など）

————— 【 留 意 事 項 】 —————

- 本アプリによるお知らせは、保育所側から保護者側への送信が原則ですので、保護者側から保育所への連絡手段としての利用はできません。欠席の連絡は「登降園連絡」より利用可能です。
- 欠席の連絡をおがスマ利用される場合は欠席理由も入力お願いいたします。確認後保育所から了解の返信をします。
- 利用料は無料ですが、アプリ利用に伴う通信料等のご負担となります。

【おがーるシステムの登録方法について】

【おがーるシステム】の連携アプリ【おがスマ】のアプリを別紙のご利用案内のQRコードを読み取りダウンロードしていただきます。

1. 宛先を **nakadaho@tomekko.jp** にしてください。
2. 件名を **登録** と記入してください。
3. 本文に **歳児、クラス名、男1・女2、児童氏名（フルネーム）** を書き、メールを送信してください。

例) 3歳児、みかん、1、鈴木一郎

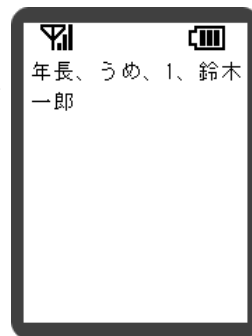
※項目と項目の間は、読点（、）で区切ってください。

※登録の手続きが正常に完了しましたら、保育所から登録完了メールが送信されます。

※児童一人に対して、最高5つのメールアドレスを登録することができます。

■ 2次元コード対応の携帯電話をご利用の方

右のコードを読み取ると、上記手順の1と2が済んだ状態で送信メールが準備されます。**その後は本文の歳児、クラス名、男女別番号、児童氏名を書き換え、送信**してください。



※同じメールアドレスでも兄弟分をまとめて登録することはできません。お手数ですが、一人ずつ登録をお願いします。

※歳児、クラス名、男女別番号、児童氏名が一致しない場合は、保育所から連絡させていただく場合があります。

※登録完了メールが届くまでに時間が掛かる場合があります。数日経っても登録完了メールが届かない場合は、お手数ですが保育所までご連絡ください。(TEL: 0220-34-2050)

※登録されたメールアドレスは、連絡メールの送信以外には、利用いたしません。

□

【連絡メール受信後の対応について】

保育所からの連絡メールが届いたことを確認するために、メールを返信していただく場合があります。連絡メールの本文に記載された内容をご確認ください。

本文	保護者の皆さまの対応
※件名を変えずにメールを送信してください。	内容をご確認の上、 <u>件名を変えずに</u> メールを送信してください。
※返信は不要です	内容をご確認ください。メールを返信する必要はありません。

※返信していただいたメールは、連絡メールが届いたことを確認するために利用します。

確認処理はコンピュータが自動的に行うため、**返信されたメールの本文に伝達事項の追記や、ファイル添付したメールを返信されても、保育所側で確認することはできません。**ご了承ください。

※ご利用の携帯電話によっては、返信時に「新規返信」として処理を行う設定になっている機種があります。携帯電話の設定が「引用返信」になっていることをご確認ください。機種によっては件名に「Re:」が追加される場合がありますが、変更せずそのまま送信してください。

※メールアドレスの変更や削除を行いたい場合は、保育所へお申し付けください。

ご不明な点はお問い合わせください。**※メールの受信・返信にはパケット通信料が発生します。**